



報道関係各位

2013年5月21日

## 東京スカイツリー開業から一年

**はとバス 東京スカイツリー展望台入場付ツアー  
ご利用人員 260,850 名・平均乗車率 90.1%**

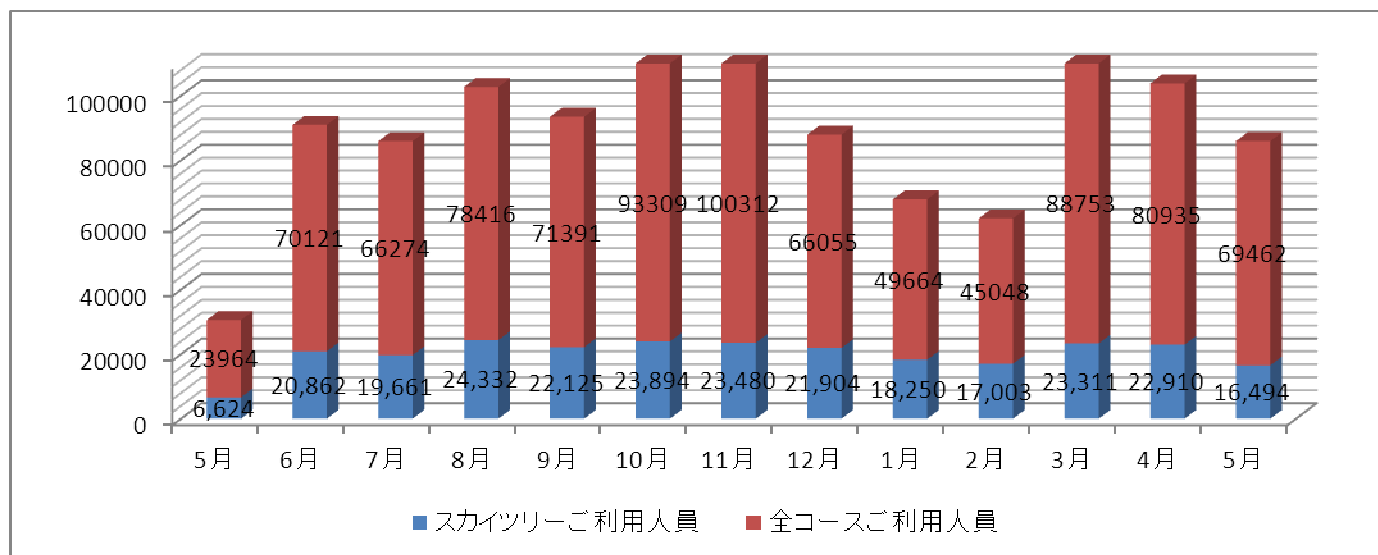
株式会社はとバス(東京都大田区/代表取締役社長 金子正一郎)の、東京スカイツリー展望台入場付ツアーのご利用人員は、開業一年で260,850名(5月21日現在の速報値)でした。

はとバスでは、ホテルでの食事や観光地と組み合わせた展望台入場付ツアーを17コース運行していますが、年間の平均乗車率は90%を超えており人気を維持し続けています。当初、スカイツリーコースの一年間のご利用人員は23万名ほどと見込んでおりましたが、冬のオフシーズンにもご利用は落ち込まず、目標を大幅に上回るお客さまにご利用いただく結果となりました。今後のご予約も堅調に推移しており、一か月先まで土・日は、ほぼ満席の状態が続いています。

### 現在運行中のツアーとご利用人員

東京スカイツリー展望台入場付ツアーは、現在17コースです。皇居前広場やお台場など名所観光を組み合わせた周遊型の昼のツアーが11コース、ホテル等での夕食とスカイツリーからの夜景を楽しむ夜のツアーが5コース、海外からのお客さま向けの英語でご案内するツアーが1コースです。バス19台(一台あたりの定員44名)のお客さまを、毎日ご案内しています。(全コース数:平日約50、土日約80コース)

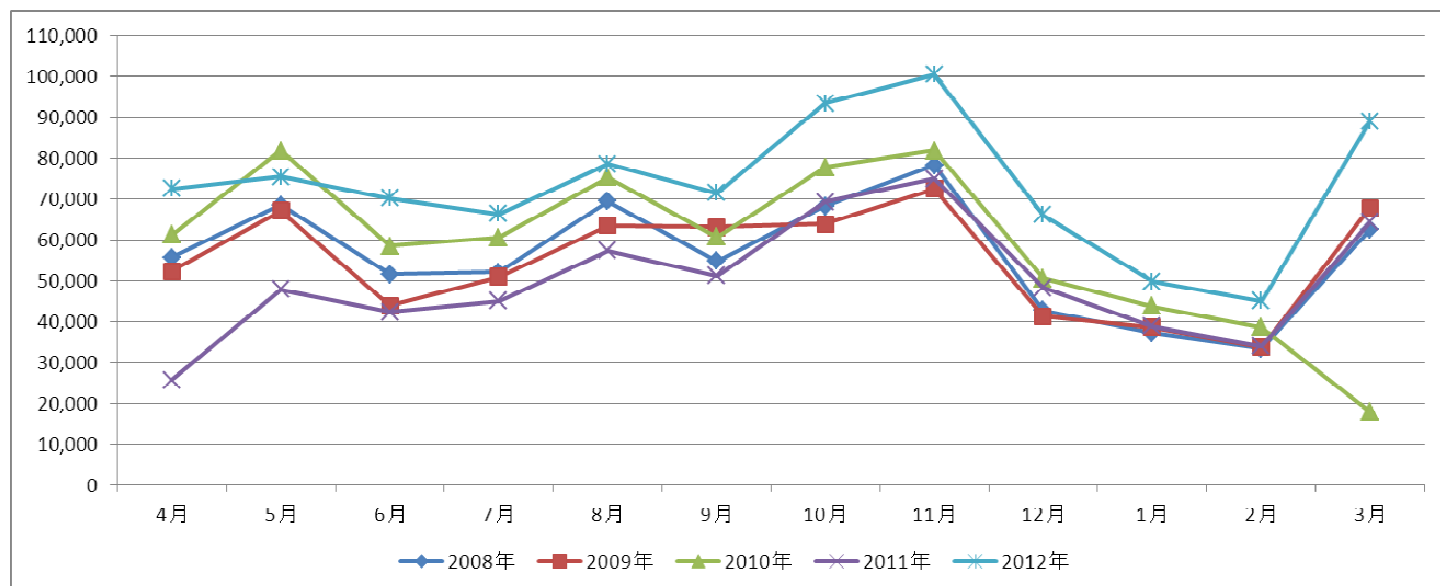
スカイツリーコースの平均乗車率は一年を通じ90%を超え、全コースの平均乗車率が6割弱であるのに比べ高い比率を保っています。通常、1月・2月のご利用は東京都内観光のピークのシーズンである10月・11月と比べるとお客さま数が半分ほどに落ち込みますが、スカイツリーのコースは70%から80%程度の落ち込みに留まり、全コースのご利用人員の約37%を占めました。(年間平均は約30%です。)



※5月のデータは、昨年は開業日22日から、本年は21日までの数字です。

## 東京スカイツリー開業の当社への影響

2012年は東京スカイツリーをはじめ、東京ゲートブリッジ・渋谷ヒカリエ・ダイバーシティ東京・東京駅丸の内駅舎など、大型施設のオープンが相次ぎました。本年も東京ディズニーランド 30周年や新しい歌舞伎座のオープンなど、東京は話題に事欠きません。こうした「東京全体の観光地化」によって、東日本大震災以降、東京への旅行を控えるムードが払拭され、当社のご利用人員（東京観光ツアー）も、過去15年間で最も多い状況が続いています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2012年	72,470	75,374	70,121	66,274	78,416	71,391	93,309	100,325	66,055	49,664	45,048	88,753	877,200
2011年	25,598	47,775	42,348	44,940	57,294	51,192	69,201	74,872	48,219	38,893	33,976	64,185	598,493
前年比	283.1%	157.8%	165.6%	147.5%	136.9%	139.5%	134.8%	134.0%	137.0%	127.7%	132.6%	138.3%	146.6%

※2011年4・5月は、東日本大震災の影響で運休で、お客さまの人員が大幅に少なくなっています。

**本件に関する報道関係の方からのお問合せは 下記までお願いいたします。**

**■ 株式会社はとバス 広報室 TEL. (03)3761-8128**

本リリースは国土交通記者会、東京都庁記者クラブに同時配布しています。